

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 新潟県立国際情報高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒949-7302

新潟県南魚沼市浦佐 5664-1

E-mail : school@kokusaijouhou-h.nein.ed.jp

Website : http://www.kokusaijouhou-h.nein.ed.jp

児童生徒数：男子 211 名 女子 236 名 合計 447 名
児童・生徒の年齢 15 歳～ 18 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（地域理解、地域課題発見）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

[1] 海外の姉妹校等との交流

- ①海外研修として、本校1年生が、10月にアメリカ・ボストンにおいてアメリカ大学のキャンパスツアー、フィールドワーク、ホームステイを行った。また、3月には、アメリカ・シカゴとロサンゼルス、オーストラリア・シドニーの姉妹校等を訪れ、学校体験、ホームステイをした。
- ②アメリカの高校生（イリノイ州エバンストンとユタ州マグナ）が日本の学校体験として本校を訪問し、授業を受けたり、ホームステイやそば作り等日本文化体験を行った。本校の生徒は学校紹介のプレゼンを英語で行うなどの交流をした。
- ③韓国の生徒（釜山、プイル外国語高校）が日本の学校体験として本校を訪問した。本校の生徒が英語で日本文化のプレゼンを行ったり、テーマに沿ってディスカッションをする等の交流をした。

[2] 1、2学年：国際理解学習

①海外研修

自分自身や日本文化の理解を深めたり、国際的なコミュニケーション能力を養う目的で、オーラルコミュニケーションⅠを活用し、プレゼンテーション用写真帳を制作し、それをういた英語によるプレゼンテーションの練習をした。3月末の海外研修に参加する者は研修先で役立つ。また、授業外では、海外の高校生に日本の文化を伝えるプレゼンテーションの準備や練習をした。帰国後は報告書をまとめたり、現地でお世話になった方々へ英文で手紙を書くなどの交流を続けた。

②UC Berkeley 特別講義

カリフォルニア大学バークレー校のトールベア，キンバリー・M准教授とフィニー，キャロライン・M准教授より、アメリカの環境問題について英語で講義をしていただいた。生徒はその後、質疑応答を英語で行い、理解を深めた。

[3] ユネスコ部（クラブ活動）

- ・海外の高校生が来校した際に、学校生活や日本文化についてプレゼンテーションを行ったり、テーマを決めてディスカッションをした。
- ・ALTと世界の料理を作り、試食し、その国の文化について調べた。
- ・近隣の国際大学の留学生に、「毘沙門堂」や「浦佐」について英語でガイドするために、地元の方々から講義を受け、練習を積み、約30名の留学生を対象にグループに分かれてガイドをした。
- ・国際大学の文化祭に参加し、留学生ヘインタビューをし、内容をまとめて発表した。
- ・「聞き書き」の手法を使って、地元の方々ヘインタビューをし、地域の特徴や課題等を学び、まとめた。今後、課題解決に向けた活動を地域の方々と協力して検討し、実行していく予定である。
- ・書き損じはがきを集める「寺子屋運動」に参加した。

[4] ボランティア委員会（委員会活動）

- ・近隣の高齢者施設に月1回程度訪問し、入居者とふれあいをもつなどの傾聴ボランティアを行った。
- ・通学路の美化整備のためのボランティアを行った。

